

第16回 核データ・グループ会合議事録

日 時；昭和43年3月13日 午後1～5時

場 所；原研本部第1会議室

出席者；五十嵐，神田，菊池，井出野，若林，浅見，村田，大野，西村，森口，
岡本（議長），田中（書記）

配布資料；1) 第15回核データ・グループ会合議事録

2) T_{ij} 計算用 I/O (五十嵐)

議 事

1 2月29日幹事会報告（五十嵐）

- (1) 核データ研究室が発足する。所内から1名常任がこゝに移る。
- (2) 百田氏が Washington Conf., Montreal Conf. に出席する。
中島氏は Washington Conf. → ENEA に5月31日まで出張する。
ENEA では Visiting Scientist として主に CINDA 関係の仕事をする。
- (3) 中性子断面積研究会について
時期的に2月はよくなかった。次回からは8月頃がよいであろう。しかし今年8月では準備が大変である。
研究会の内容としては、資料紹介を行なうこともよいであろう。
- (4) コード整備委員会
ISPRA にあるコードは成るべくこちらでも使えるように要求を出しても
らいたい。
- (5) Σ 委員会のメンバーの一部変更についての報告があった。
- (6) 43年度予算は現在のところ925万円の予定である。
- (7) SCISRS のデータの取扱いについて
今后は五十嵐氏のところを通してデータをもらおう。

2 中性子断面積研究会報告（五十嵐）

予算，開催時期などについて反省的な報告があった。

浅見氏より Σ 委員会全員による研究会を行なったらよいという意見が出された。

3 前回議事録確任(浅見)

4 核データ・グループの勉強会について

今までの定期的な会合の内3回に1回位は勉強会的なものにしたらよいであろうという意見が出された。

5 計算関係(五十嵐)

- (1) 透過係数 T_{ℓ}^j の I/O についての資料が配布され説明があった。
- (2) STEVE のマニュアルを出してもらいたい。

6 コンピュータ・インデックス(田中)

今までに Compile されたデータの核種別の Output およびそれにつける説明の原稿が出来上った。説明に対してはデータ・シート関係には特に重点をおかない。

7 昭和43年度計画

特に予算を要すると思われる事について、予算の要求案を下記のように作製した。但し?は関係者不在のため要求額不明のものである。

計 算	1	Phase shift analysis	50	万円
	2	KeV 領域での解析	50	
	3	COMFORD	50	
	4	ELIESE 修正, non-local など	50	
評 価	1	STEVE (n, 2n)	?	
	2	RACY (n, r)	?	
	3	ELIESE; 透過係数	0	
	4	炉定数グループとの共同; ENDF/B	?	
	5	Carbon σ_T	30	
	6	Threshold reaction	20	

次回予定

日 時; 昭和43年4月22日(月)1時から
場 所; 東海研究所
議 長; 中 村
書 記; 大久保